

生駒市農業ビジョン推進懇話会 第26回会議録 (要点筆記)

1. 開催日時 令和7年11月4日(火) 14時00分～15時30分
2. 開催場所 生駒市役所 403・404 会議室
3. 参加者 池上 小北 東 中井 中世古 藪下 藤原 浅井
[事務局] 農林課 松井課長 泉 濱田 阪口
[欠席] 井上 田中 中村 稲葉
4. 会議の公開・非公開 公開 傍聴人数 なし
5. 議題 (1)生駒市農業ビジョン 令和6年度の実績について
(2)その他

6. 審議内容

(1) 生駒市農業ビジョンの案について

事務局	委員紹介、資料確認。案件に移り進行を座長へ。
座長	挨拶。 案件1の「生駒市農業ビジョン 令和6年度実績」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	令和6年度実績 施策1～4の説明。
座長	ありがとうございました。 紹介いただいた中で一番の課題となってくるのが地域計画だと思います。24農家区で策定したことはすばらしいことだと思う。座談会に参加しての感想はあるか。
参加者	皆さん、農地を維持していかないといけないという想いで話してくれていた。 ただ、耕作しづらい農地が多いので、道づくりも併せて必要になってくる。イチゴ農家の新規就農の話も聞くと、ハウスを建てるとなると大きな土地が必要になるので、マッチングが難しいのかと思う。
座長	構造物を建てるとなると、農地を貸す側が懸念する場合もあるかと思うが、障がいになっていないか。
事務局	ハウスを建てることについて反対という意見は聞いたことがない。生駒市では、貸したいと言っている場合は基本的に自由に使ってもらって大丈夫という方ばかり。
座長	基本的に貸し借りについて、有償か無償かはどんなものか。
事務局	半々くらいという認識。
座長	条件が悪くなってくると、「逆有償（お金を払ってでも借りてほしい）」というパターンも出てくると思う。
事務局	生駒市では現在のところそれはない。
座長	地域計画のホームページを映してくれているので、現状を説明してもらえないか。
事務局	24の農家区で策定した計画を掲載している。現在は、農地転用などで農地でなくなった地点がある地区を月ごとに更新をかけている。 また今年度はモデル地区2地区（大北・小平尾北）を選定し、より具体化して取組を進める予定。

参加者	遊休農地で現在使われていない場所がたくさんあると思う。それは提供されてないからか。
事務局	貸し手の方が制度を理解したうえで、提供いただければ解消していくかと思うが、土地所有者が市外に住んでいるなどで、追えない場合などもあり、なかなか難しいこともある。
参加者	新規就農者で、いい条件とは言えない土地で耕作している人もいる。県外などの人に売ったという話も聞かすが、それで適正管理がされなくてイノシシの住処になって困っている。そういった土地を新規就農者に回せたらいいのでは。 組織化して取り組むなど、もっと違う道を模索できれば生駒の農業はもっとよくなるのに、と歯がゆく思うことがある。もっと聞く耳をもって、いろんな農業者（特に若い人）に寄り添ってほしい。
事務局	市で条件が悪い土地をあてがっているということはないが、内容は承知した。
参加者	百歳体操、こみすてなどと連携して販売しているのはいいことだと思う。既存の取組と連携して、これからは質を上げていく取組も一つの方法なのでは。市や民間など、主催を問わず、一度情報を集約して縦割りではなく質を上げる取組も必要になってくると思う。
事務局	その通りだと思う。何かできることから協力いただきながら始められたら。
参加者	横のつながりとか、生産者と市民がつながる場もできればいいと思う。
参加者	情報共有だが森田記念福祉財団というところが、ひとり親家庭に野菜を配るという事業をやっていてとてもいいと思う。
参加者	過去に社会福祉協議会と連携して似たようなことをしたこともある。
参加者	ひとり親家庭への野菜の配布はいいことだと思う。市が音頭をとってやるのも一つではないか。
座長	集落営農もない、また農業振興地域もない。そのため、国の補助金をとれないのが生駒市の農業に対してネックになっている。市の予算だけで農業について対応するのは限界があるので、先ほどからあるように、企業との連携や他部門との連携などもますます大事になってくる。 新規就農してしまえば支援制度は一定ある。就農の手前のところの人たちに対する支援を市としてもう一度整理してもいいのではと思う。資金面はもちろん、農地の幹旋、農機レンタル、道づくりなど、個人の利益に直結しないような形で、何か支援できれば。 また農業をするうえで課題となっているのが草刈りや暑さだと思う。そこらへん、現状はどうか。
参加者	本当に命に関わる問題。日中は出ないようにしている。
座長	そうしたなかで、スマート農業として、 ロボット 草刈機の値段も下がっているので、そうしたもののシェアができるようにするなど、生駒に合ったようなスマート農業を検討してみては。
事務局	スマート農業については今年度中に補助金の要綱を公開予定。農業者の意見も聞きながら進めているところである。

座長	農業ビジョンを昨年公開したが反応などはあるか。
事務局	生駒市に農業について相談に来る人の多くが、ホームページで農業ビジョンを見ている。数字だけを見ると、遊休農地が余っているように見えるため、それを踏まえて相談に来る。話のきっかけはそれで、その後、市ですぐに提供できる農地はないことや市の農業施策などを説明する。
参加者	個人間でやり取りしている人も多いと聞く。県外からの利用希望も多く聞く。一人では全然かもしれないが、まとまると大きな力になると思う。 新規就農する人は想いを持って、来てくれているので応援したい。
参加者	今は、作付けや販路開拓なども個々でやっている状況。特産品などが作れたら違うかもしれないが、なかなか難しい状況。
座長	状況もかなり変わってきているので、農業ビジョンの施策や指標も少し入れ替えないといけないのではとも思っている。ここ数年で、米や野菜の価格高騰で、農業への関心も高まっている。この時期を逃さずに、関心をとらえなおして、そうした意識を力に変えられるようにしていくべきだと思っているので引き続きよろしくお願ひしたい。 ではこれにて案件Ⅰの「生駒市農業ビジョン 令和6年度実績」を終了します。

(2) その他

座長	その他について事務局から何かあるか。
事務局	ありがとうございました。今日の内容をこれまで同様、要点をまとめて公開させていただく予定。また確認のお願いをさせていただく。その際は、よろしくお願ひする。
座長	ありがとうございました。